

阪神高速道路株式会社入札監視委員会(平成28年度第1回)審議概要

開催日及び開催場所	平成28年6月14日（火）阪神高速道路株式会社会議室	
委 員	石丸鐵太郎（神戸中央法律事務所 弁護士） 古田 均（工学博士 関西大学総合情報学部教授） 武田 邦宣（大阪大学大学院法学研究科教授）	
審議対象期間	平成28年1月1日～平成28年3月31日	
抽出案件	4件（総件数88件）	
（内訳）	一般競争（政府調達協定対象）	0件（総件数 0件）
	一般競争（政府調達協定対象外）	1件（総件数22件）（案件①）
	指名競争	0件（総件数 0件）
	随意契約	1件（総件数 2件）（案件②）
	建設コンサルタント業務等	1件（総件数27件）（案件③）
	物品等の購入等	1件（総件数37件）（案件④）
委員からの意見・質問、それに に対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧 告の内容	意見・勧告なし	

意見・質問	回答
<p>【案件①「P C桁等大規模修繕工事（27-1東）」関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 落札した会社が技術提案の評価が高いのは分かるが、どのような点で評価の差ができるのか。 技術評価点（技術提案評価点及び品質確保体制評価点）の満点は何点か。 価格評価点の満点は何点か。 当該入札は現状調査する前に補修内容が分かるのか。 落札した会社の価格評価点は低いが、実現可能なコスト縮減提案項目が評価されているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術提案の内容が、一般的な記載ではなく具体的な記載内容となつていれば評価が高くなる。 当該工事については、技術提案評価点が50点満点、品質確保体制評価点が30点満点である。 価格評価点は、調査基準価格と契約制限価格の比率で決定する。 当該工事については、11点が満点となる。 今までの点検履歴や定期的な構造物点検の結果に基づき補修内容を把握している。 当社が考える標準案に対して、技術的な要因によるコスト縮減提案がされた場合について評価している。
<p>【案件④「雨天用作業服（着脱式インナー付・高視認性）購入」関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 競争参加業者が1社なのは競争参加資格が厳しかったのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の競争参加業者を得られるよう、検討していきたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>